

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月25日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

TEL 03-5337-6711

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,912	△0.7	91	△58.2	98	△55.8	47	△62.6
23年3月期第2四半期	1,926	—	218	—	223	—	127	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	346.01	344.51
23年3月期第2四半期	926.82	919.55

(注)23年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、22年3月期2四半期において四半期連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,379	2,791	82.6
23年3月期	3,539	2,815	79.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,789百万円 23年3月期 2,813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年10月25日)公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	7.8	450	8.2	450	5.7	250	70.2	1,811.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、919円42銭であります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	139,274株	23年3月期	139,274株
24年3月期2Q	1,272株	23年3月期	1,272株
24年3月期2Q	138,002株	23年3月期2Q	137,813株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
  - ・平成23年10月25日（火）・・・アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

平成24年3月期第2半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、後半にかけて東日本大震災後の一時的な停滞を脱し、再び回復軌道に復帰いたしました。しかしながら、長引く円高に加え、ギリシャの債務危機を契機とする欧州発の金融不安、欧米景気の減速など世界経済の変調等が、新たな懸念材料として浮上いたしました。このような環境下、当社の当第2四半期累計期間の業績は、営業収益については1,912,674千円と前年同期比0.7%減とわずかながら減収となりました。一方、利益状況につきましては、営業費用のうちオンラインゲーム事業に関連する支払ロイヤリティ及び減価償却費などの大幅増が響き、営業利益は91,384千円と前年同期比58.2%減となり、経常利益は98,694千円と前年同期比55.8%減、税引前四半期純利益は83,550千円と前年同期比62.0%減となりました。

この結果、法人税等を差引いた四半期純利益は47,750千円と前年同期比62.6%減となりました。

当第2四半期累計期間の主なセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	平成24年3月期第2四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	1,379,315	7.0	72.1
ソフトウェア販売事業	458,101	△18.7	24.0
サイト広告販売事業	73,269	1.8	3.8
その他	1,987	△19.7	0.1
合計	1,912,674	△0.7	100.0

## オンラインゲーム事業

当社が経営の柱として力を入れているオンラインゲーム事業については、当第2四半期累計期間の販売金額は1,379,315千円と前年同期比7.0%増となり、当該事業の当第2四半期累計期間の営業収益に占める割合は、72.1%に達しております。

当該事業は、従来型オンラインゲーム（クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの）、ブラウザゲーム（パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム）、モバイルゲーム（ブラウザゲームの一種で携帯電話で「アプリ」と呼ばれる応用ソフト無しで遊べるもの）の3つの分野から構成されています。

従来型オンラインゲーム（MMORPG）は、平成23年4月より正式サービスを開始した大型タイトル「Finding Neverland Online ー聖境伝説ー」など当第2四半期累計期間末時点で12タイトルを運営し、当該オンラインゲーム事業の販売金額の7割弱を占めるに至りました。

また、当社が運営する専門ポータルサイト「ブラゲタイム」上で展開するブラウザゲームは「ドラゴンクルセイドⅡ」など当第2四半期累計期間末時点で10タイトルを運営しました。ブラウザゲームは、従来型オンラインゲームに比べ表現力に劣る点や、ライトユーザーがモバイルゲームに移行している点等から、一時ほどの勢いがなくなりつつあります。

モバイルゲームは、主として携帯電話向け交流サイト運営会社の専門サイトを通じて、「こいけん!」など当第2四半期累計期間末時点で10タイトルを運営しました。モバイルゲームはタイトルを自社開発しておりますが、競争激化による苦戦を余儀なくされております。

#### ソフトウェア販売事業

ソフトウェア販売事業については、当第2四半期累計期間の販売金額は458,101千円と前年同期比18.7%減となりました。うち、プロレジ・サービスの販売金額は395,243千円と前年同期比17.4%減となるなど、ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては依然根強い需要がありますが、消費者の有料パソコンソフトに対する需要は、減少しつつあります。そのほか、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務の売上高も47,555千円と前年同期比15.6%減となりました。

#### サイト広告販売事業

サイト広告販売事業の当第2四半期累計期間の販売金額は、73,269千円と前年同期比1.8%増となりました。うち、キーワード広告（リスティング広告）については当該事業の4割を占め、サイト広告販売事業を牽引しております。

#### その他

その他の当第2四半期累計期間の販売金額は、1,987千円と前年同期比19.7%減となりました。うち、個人向け会員制ブログサービスが3分の1を占めており、他は他社サーバー運用受託サービス等となっております。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ○財政状況の変動状況

当第2四半期累計期間末(平成23年9月30日)における資産合計は、3,379,144千円となり、前事業年度末に比べ160,803千円減少しました。

## (資産)

流動資産については、2,435,072千円と前事業年度末に比べ158,800千円減少しました。うち、現金及び預金が前事業年度末に比べ70,059千円増加しましたが、売掛金及び有価証券がそれぞれ前事業年度末に比べ12,362千円、199,536千円減少しました。なお、固定資産については944,072千円と前事業年度末に比べ2,002千円減少しました。

## (負債)

負債については、流動負債が569,943千円と前事業年度末に比べ138,452千円減少したことなどで、負債合計は587,437千円と前事業年度末に比べ136,933千円減少しました。

## (純資産)

純資産については株主資本は2,790,610千円と前事業年度末に比べ21,250千円減少しました。なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の20.5%から17.4%に低下し、自己資本比率は、前事業年度末の79.5%から82.6%に3.1%向上しました。

## ○キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において現金及び現金同等物は、期末残高が1,576,684千円と期首残高の1,506,614千円に比べ70,070千円増加しました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益83,550千円のほか、減価償却費215,442千円の計上などで小計段階で310,020千円の収入となりましたが、法人税等の支払額134,479千円などがあり、差引き180,100千円の収入(前年同期は195,371千円の収入)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入300,000千円、有価証券の取得による支出100,662千円、無形固定資産(ソフトウェア)取得による支出234,205千円などで、差引き41,255千円の支出(前年同期は319,778千円の支出)となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支(フリーキャッシュ・フロー)は、138,844千円の黒字(収入超過)となり、キャッシュ残高の増加要因となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額により68,774千円の支出(前年同期は47,468千円の支出)となり、その分キャッシュ残高の減少要因となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点では平成23年5月20日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

また、配当につきましては、業績を考慮した剰余金配当を実施することを基本方針としておりますが、現時点では平成24年3月期期末配当については未定であります。配当方針が決定次第、速やかに開示いたします。なお、当社は中間配当制度を採用しておりますが、中間配当は実施いたしません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第 1 四半期会計期間より、「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第 2 号 平成 22 年 6 月 30 日) 及び「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 4 号 平成 22 年 6 月 30 日) を適用しております。

潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の金額は、919 円 42 銭であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,476,317	1,546,376
売掛金	423,276	410,913
有価証券	530,297	330,761
その他	163,982	147,021
流動資産合計	2,593,873	2,435,072
固定資産		
有形固定資産	105,751	82,894
無形固定資産		
のれん	20,313	10,938
ソフトウェア	395,730	505,480
その他	157,374	87,060
無形固定資産合計	573,418	603,479
投資その他の資産	266,904	257,698
固定資産合計	946,074	944,072
資産合計	3,539,948	3,379,144
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,131	164,161
未払法人税等	138,982	25,483
引当金	40,989	38,920
その他	361,292	341,378
流動負債合計	708,395	569,943
固定負債		
引当金	15,976	17,494
固定負債合計	15,976	17,494
負債合計	724,371	587,437
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,246
資本剰余金	1,395,244	1,395,244
利益剰余金	505,321	484,070
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,811,861	2,790,610
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,107	△1,011
評価・換算差額等合計	2,107	△1,011
新株予約権	1,608	2,108
純資産合計	2,815,576	2,791,707
負債純資産合計	3,539,948	3,379,144



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	1,926,537	1,912,674
営業費用	※ 1,708,064	※ 1,821,290
営業利益	218,473	91,384
営業外収益		
受取利息	3,844	3,839
受取配当金	55	61
為替差益	1,376	1,950
その他	813	1,458
営業外収益合計	6,090	7,310
営業外費用		
事務所移転費用	810	—
株式交付費	269	—
雑損失	40	0
営業外費用合計	1,120	0
経常利益	223,443	98,694
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,440
特別利益合計	—	1,440
特別損失		
固定資産除却損	1,107	9,159
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,362	—
義援金	—	7,424
特別損失合計	3,470	16,583
税引前四半期純利益	219,972	83,550
法人税、住民税及び事業税	99,422	22,083
法人税等調整額	△7,177	13,716
法人税等合計	92,244	35,800
四半期純利益	127,728	47,750

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	219,972	83,550
減価償却費	111,612	215,442
のれん償却額	9,375	9,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,902	1,518
賞与引当金の増減額 (△は減少)	421	△2,069
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,500	—
受取利息及び受取配当金	△3,900	△3,900
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,440
固定資産除却損	1,107	9,159
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,717	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,621	28,583
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,993	△2,126
預り金の増減額 (△は減少)	17,747	△14,530
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,086	△4,946
その他	90,486	△8,597
小計	280,242	310,020
利息及び配当金の受取額	4,268	4,559
法人税等の支払額	△89,139	△134,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,371	180,100
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△999,791	△100,662
有価証券の売却による収入	999,791	300,000
投資有価証券の売却による収入	—	1,440
有形固定資産の取得による支出	△64,602	△7,583
無形固定資産の取得による支出	△243,674	△234,205
長期前払費用の取得による支出	△3,174	△245
貸付けによる支出	△999,554	△299,865
貸付金の回収による収入	999,554	299,865
敷金の差入による支出	△22,610	—
敷金の回収による収入	14,283	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,778	△41,255
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△68,468	△68,774
新株予約権の行使による株式の発行による収入	21,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,468	△68,774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△171,875	70,070
現金及び現金同等物の期首残高	1,648,425	1,506,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,476,550	※ 1,576,684

## 【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)		当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	
※ 営業費用の主なもの		※ 営業費用の主なもの	
ソフトウェア販売原価	361,629千円	ソフトウェア販売原価	293,081 千円
オンラインゲームロイヤリティ	205,135	オンラインゲームロイヤリティ	293,476
コンテンツ費用	3,285	コンテンツ費用	2,435
支払手数料	258,377	支払手数料	212,295
広告宣伝費	212,339	広告宣伝費	213,721
役員報酬	27,396	役員報酬	25,493
給与手当・賞与	258,011	給与手当・賞与	275,601
株式報酬費用	559	株式報酬費用	499
賞与引当金繰入	35,076	賞与引当金繰入	35,825
退職給付費用	2,467	退職給付費用	2,286
福利厚生費	42,716	福利厚生費	48,324
業務委託費	11,075	業務委託費	8,182
通信費	66,175	通信費	81,596
租税公課	7,302	租税公課	6,517
減価償却費	111,612	減価償却費	215,442
長期前払費用償却費	1,410	長期前払費用償却費	1,668
のれん償却額	9,375	のれん償却額	9,375
保守修理費	1,369	保守修理費	953
旅費交通費	2,588	旅費交通費	2,184
地代家賃	37,106	地代家賃	45,359
賃借料	292	賃借料	—
水道光熱費	7,199	水道光熱費	5,574
消耗品費	1,609	消耗品費	867

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)		当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	
※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年 9 月30日現在)		※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年 9 月30日現在)	
現金及び預金	1,446,265千円	現金及び預金	1,546,376千円
中国ファンド(有価証券勘定)	<u>30,285</u>	中国ファンド(有価証券勘定)	<u>30,308</u>
現金及び現金同等物	1,476,550	現金及び現金同等物	1,576,684

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 2 四半期累計期間（自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,288,569	563,506	71,985	1,924,062	2,475	1,926,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,288,569	563,506	71,985	1,924,062	2,475	1,926,537
セグメント利益又は セグメント損失(△)	158,197	62,377	40,642	261,217	△6,705	254,511

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	261,217
「その他」の区分の損失(△)	△6,705
全社費用(注)	△36,038
四半期損益計算書の営業利益	218,473

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,379,315	458,101	73,269	1,910,686	1,987	1,912,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,379,315	458,101	73,269	1,910,686	1,987	1,912,674
セグメント利益又は セグメント損失(△)	62,880	41,228	44,412	148,521	△2,401	146,120

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,521
「その他」の区分の損失(△)	△2,401
全社費用(注)	△54,736
四半期損益計算書の営業利益	91,384

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。